

ポイ捨てがゴミを指して

〜そのゴミをどう捨てる?〜



美しい出雲のまち。神在月とも呼ばれる10月は、観光客が多く訪れる時期でもあります。せっかくの町並みも、ポイ捨てごみが散乱しているようでは、台無しです。

今回は、ポイ捨てごみがなぜ減らないのか、一緒に考えてみましょう。



日曜日の朝、国道9号バイパス付近でゴミ拾い活動を行う「朝倉美化サポートクラブ」の皆さん(9月25日 朝倉二丁目)

こんなごみは…

一見、きれいに見える道路や歩道。しかし、よく見ると、さまざまなごみが捨てられています。紙くず、ペットボトル、空き缶など、私たち人間が捨てたものばかりです。中でも、タバコの吸殻はとてたくさんあります。

これらのごみは、まちを汚すだけでなく、出雲を訪れた人たちをがっかりさせてしまうのではないのでしょうか。

タバコをポイッと捨てる、空き缶やペットボトルをベンチや道路脇に置いて行く。そんな行動一つひとつがごみのポイ捨てを生んでいます。「たった一つ」が集まれば、道に、川に、公園にごみがあふれてしまうのです。

大好きなまちだから

そんな中、「まちをきれいにし、気持ちよく過ごしたい」との思いから、環境美化活動に取り組んでいる市民が増えています。

市では、地域で道路や公園などの清掃を定期的に行う団体を『美化サポートクラブ』に認定し、清掃に必要な用具を提供するなどの支援をしています。

現在登録しているのは3団体。このうち、市内で最初に発足した朝倉美化サポートクラブでは、毎月定期的にごみを拾う活動を行っています。代表の三原憲治さんは「1時間ほど拾うと、10キロ近いごみが集まります。犬のフンも多く、飼い主さんに始末をきちんとしてもらいたいですね」と話します。また、市が任命した美化推進員157人が、自ら環境美化活動に取り組むほか、ポイ捨てなどの監視や、地区の行事などでポイ捨て禁止を呼びかける活動を行っています。

こうした努力を踏みにじるポイ捨て行為。みんなが捨てないモラルをもつことが、大切なのではないのでしょうか。

あなたは、自分の家の中のごみを捨てますか?

ごみを捨てる時、自分の目の前から消えてしまえばいい、持ち帰って処分するのは面倒くさいなどと考えるのは、美化推進員からひとこと

大好きなまちを美しく



出川晃男さん(今市町)

我が家は出雲市駅北口からすぐのところにあります。道路や歩道が整備され、人通りが多くなってきました。そのためか、ごみのポイ捨てが後を絶ちません。特に目立つのはタバコの吸殻です。中には火がついて

たまに、歩道や植え込みの中に捨てられているものもあります。きれいな歩道に焼け跡がでたり、火事につながったりしないかと心配しています。また、こびりついたガムを取るのも一苦労です。出雲のまちの玄関口として、少しでも気持ちよく通ってもらいたいですね。きれいなところは、ごみを捨てにくいもの。これから大好きなまちを美しく守るよう、皆さんと一緒に活動が続けていきます。

えてはいないでしょうか。あなたが捨てようとしたそのごみ。自然に消えてなくなることは決してありません。それでもどこかへポイ捨てできますか。

ポイ捨て禁止についてのおたずねは
環境保全課
(6535)

美化サポートクラブに登録しませんか

対象 / 各地域などで組織された団体や事業所
個人での申し込みはできません
認定団体への支援 / 傷害保険に加入、腕章、ごみ袋や火ばさみなどの清掃道具を提供
申し込み / 市役所環境保全課にある「認定申請書」に必要な事項を記入し、提出。市ホームページからも取得できます。

あなたも参加しよう 出雲地域17万人 ポイ捨て一掃大作戦



出雲市と斐川町で組織する「出雲地域ポイ捨て禁止推進協議会」では、10月の1か月間、ポイ捨て一掃大作戦を展開します。自宅周辺や道路に落ちている空き缶などのポイ捨てごみを捨ててください。使用済みのビニール袋1袋分が目標です。住む人も、訪れる人も気持ちよく過ごせるまちを目指しましょう。

集めたごみは、分別のうえ、各家庭の指定ゴミ袋と一緒に入れて、収集日に出してください。

参加報告をお願いします。活動後、電話で参加報告をお願いします。

報告内容

実施日、参加者名(団体の場合は団体名と代表者) 参加人数

報告先・おたずね

市役所環境保全課 (TEL 21 - 6535) または各支所市民生活課

海岸への漂着のごみを防ぐ

約106キロメートルの海岸線を持つ出雲市。沿岸の地区の皆さんを中心に、定期的に海岸清掃が行われています。

集まったごみの中には、外国の文字が書かれたポリタンクなどがたくさんあり、海岸の景観を損ねています。

これら外国からの不法投棄をなくすため、7月には、市長が外務省や海上保安庁へ出向き、外交ルートを通じた働きかけや、監視活動の強化について国へ協力を求めました。今後も、あらゆる機会を見つけて、不法投棄がなくなるよう、取り組んでいきます。



外国語が表示されたたくさんの漂着物